

社会福祉施設 ってどんな場所？ 職員の施設レポート

～大手前整肢学園～

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

—私の施設！—

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、主に心身に障害のある子ども達を受け入れ、専門的な医療サービス、リハビリなどの療育サービスを提供する施設です。

昭和42年に大阪府から委託を受けて開設後、平成19年に赤十字の直営に移管となりました。大阪赤十字病院と密接に連携して、高度な医療が提供できる施設となっています！

基礎データ

施設：肢体不自由児施設・重症心身障害児施設

所在地：大阪府天王寺区筆ヶ崎町

定員：計60名 職員数：80名



こんにちは！児童指導員の
山内（左）がレポートします！

—こんな特色が！—

当園は肢体不自由・重症心身障害児者を受け入れ、訓練や手術等による治療を行っています。また、入園した小中学生は併設の堺支援学校大手前分校で義務教育を受けることができるようになっています！さらに、単独での入園だけではなく、親子で数週間入園し、集中的なリハビリを受ける「親子入園」や、親子で定期的に来園して保育やリハビリ等を行う「通園」も実施しています。より良いサービスが提供できるよう、医師、看護師のほか、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員等様々な職員が協力し、ケア体制を充実させています！



親子入園や
通園事業も
実施中！

—私の施設自慢！—



当園には、OSTEK（大手前整肢学園定期交流会）という、大学生を中心としたボランティア団体が活躍しています！

毎月、入園児との交流会を行ったり、夏祭りや花火大会、一泊の園外活動、運動会やクリスマス会といった施設行事の手伝いをしてもらっています。その活動は、先輩から後輩へと引き継がれており、活動はすでに10年を超えています！子ども達にとって、良いお兄さん、お姉さんであり、当園にとってとてもありがたい存在です！

—より良い施設を目指して！—

家族と離れて慣れない集団生活をする事は、子ども達にとって寂しく不安で、不自由なことも多いと思います。また、訓練や手術を受けながらの学校での勉強など、なかなか甘えることのできない環境かもしれません。そんな子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して生活してもらえるよう、そして心も体もたくましく成長してもらえるよう、これからも温かい支援を続けていきたいと思っています！

